

できるかな？

保護者の皆様には、休業期間中、子供たちが「知る楽しさ」「学ぶ楽しさ」を味わい、学習習慣の維持、学習意欲の向上のために、ご協力いただきたいと思います。

5月14日

ひらがな、カタカナはクリアできましたか。

ひらがなの「も」は「ひらがなの『し』のように書いてから横棒（よこぼう）を上から順に2本」

カタカナの「ヲ」は「横棒を上から順に2本書いてからカタカナの『ノ』をかくように」

カタカナの「シ」は「ひらがなの『し』をなぞる順」（じゅん）に点、点、下から上に」

カタカナの「ツ」は「ひらがなの『つ』をなぞる順に点、点、上から下に」書きます。

今日も、基本 1年生と2年生はまだ学校では学習していないから難しいと思います。

おうちの人に聞いていくつか書いてみると学校で学習するときの予習にもなります。

では、今日は、「きまりを見つけようです。」皆さんは2年生の秋に、かけ算の学習をしたことと思います。

まず、かけ算九九の式（しき）を一の段から順番にノートに書いてみましょう。

「きまりはないか」と意識しながら書いていきましょう。マス目のあるノートを使うとわかりやすいかもしれませんね。

見つけたきまりを10個くらい書きましょう。書いたきまりの中でレベルが高いなと思うものに「◎」の印をつけておきましょう。高学年の皆さんは 百マス計算のような表を作り

縦と横のぶつかったところにかけての答えを書き表を完成させましょう。見つけたきまりを書きましょう。式のときと同じものも、あったと思います。同じようにレベルが高いなと思うものに「◎」印をつけておきましょう。

さあ、チャレンジしてみましょう。

5月15日

5月も半ば（なかば）になりました。4月から始まった「できるかな」も20回を数えることになりました。

昨日の「きまりをみつけよう」では、かけ算九九のきまりを書くことができましたか。

たとえば、「二の段の九九は答えが2ずつふえている」など 書いているとうれしいですね。

かけ算の答えのことを「積（せき）」と言います。高学年の人は、算数で使う言葉を入れて、「二の段の九九は積が2ずつふえている」と書けている人は花丸ですね。

夕焼けチャイムの放送が流れる時刻（じこく）が、4月は午後5時だったのが、今は5時30分になっています。夕方暗くなるのもおそくなってきました。先日、学校から帰るとき、月が建物（たてもの）のよきに現れました。大きな満月だなあと思いました。同じ日にその満月が空の高い位置に来るといつも見ている大きさの月になっていました。不思議（ふしぎ）だなあ。どうして？と思いました。

今日は、身の回りにあるもので、「不思議だなあ」「どうして」「なぜ」と思ったことをノートに書いてみましょう。10こくらい書けるかな。

アサガオやミニトマトなど植物（しょくぶつ）のこと

チョウやバッタなど虫のこと

天気のことなど 何でもオーケーです。

さあ、チャレンジしてみましょう。